

今月のカンガルークラブ

12月はクリスマス会でした。最初にサイコロトークをし、お母さん同士盛り上がりました。その後、サンタさんが来てくれてプレゼントをもらったり写真を撮ったりしました。嬉しそうな子ども姿をたくさん見ることができ、親子で楽しい1日となりました。

生山 佐伯 歩実



林業アカデミー奮闘記

林業アカデミー1期生の研修も、あと2か月になりました。林業関係者だけでなく、町民の皆様のご支援により充実した研修を実施することができ、心より御礼申し上げます。

アカデミーの学生達は、12月からインターシップ（就業体験）に町内の林業事業体へお世話になりました。アカデミーでの研修では、様々な制約で大径木伐倒などの経験もでき、大変有意義な研修になりました。報告会では、インターシップで感じた修正すべき点を洗い出し、今後の研修に生かしていきます。また学生間でも活発な林業技術に関する議論が交わされ、林業人としての成長も感じられました。

アカデミーでは、「安全と改善意識を常に持ち続ける」という基本方針に沿った研修を実施してきました。特に林業の最大課題である安全性の向上について、就職前に危険性を認知していることが、林業を長く続けるために必要なことであり、アカデミーで学ぶ最大の意義だと考えております。

2期生もまだまだ募集中です。林業アカデミーまでお問い合わせください。



問

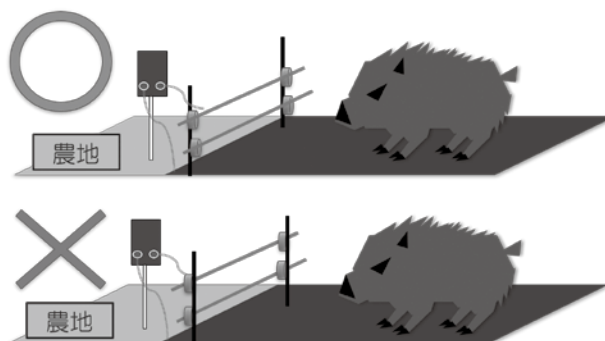
にちなん中国山地林業アカデミー

TEL 84-0070

獣害対策最前線

残念な対策② が 碍子

日野郡鳥獣被害対策協議会
実施隊チーフ 木下卓也
【問い合わせ】72-1399



右の図をご覧ください。
上の絵は正しい設置方法で、下の絵は間違った設置方法です。さて、その違いは何でしょう？

答えは碍子（がいし）の向きです。上の図で、黒い支柱と赤い電線の間の青い部分がイノシシ側にあるか、農地側にあるかが非常に重要なポイントです。

碍子は、電線を巻き付けたり、引っ掛けたりして使

い、支柱から漏電しないようにしたり、線の張り具合を調整するために用います。この碍子が農地側に向いていたら、なぜダメなのでしょう？外向きでも農地向きでも大した差はないように感じます。でも実は、イノシシの習性が関係しています。

イノシシは十字になっているものを見ると縦の棒に触れたがる傾向があります。つまり電気柵なら電線よりも支柱に触れたがる傾向があるということです。碍子が農地に向いているということ、支柱が最もイノシシ側にあり、支柱を押し倒してしまう危険性が高まります。

「碍子は外側」に向けて設置し、しっかり電線に触れさせて痛い思いをさせましょう！

